

# 岐阜新聞真学塾

出題 蜚雪ゼミナール

則武校・船橋巧



全科目を指導しています。英語の学習を通じて、全科目に通じる勉強法を紹介します！

## 問題【英語】

今回は特に中学校1年生の内容に絞って、最初のテストに出る文法面の要点を確認しましょう。

A. ( ) にあてはまる最も適切なものを、選択肢の中から選んでください。

Hanako: ( ) you from Nagoya?

Taro: No. I ( ) from Gifu. But my mother ( ) from Nagoya.

選択肢: am are be is

B. (1)~(3)の文を、それぞれ疑問文に書き換えて、Noから始まる3語で返答してください。ただし、短縮形は1語と数えます。

(1) You have natto for breakfast.

(2) You can play the piano well.

(3) That man is Mr. Ito.

## 豆知識 雑学コラム

## be動詞のルール

Aでは、be動詞の使い分けを問題にしました。am, are, isやその過去形などをまとめてbe動詞といいます。最初のテストで問われるのはam, are, isの使い分けです。これらは、文の主語(「～は」にあたる部分)に注目しましょう。

- 主語が「I」→am
- 主語が「I」「you」以外で、1人(1つ)だけ→is
- 上記二つ以外、つまり主語が「you」または2人(二つ)以上→are

後の学習につなげるという点で、特に「is」を使う場合をしっかりと覚えましょう！ 1年生向けの教科書(NEW HORIZON)では、Unit6で「3単現のs」を扱います。このとき、「be動詞だったらisを使うときに3単現のsがつく！」とおさえると、新しい内容をこれまでのことに関連付けることができ、覚えやすく、かつ忘れにくくできるのです。

Bでは、否定文や疑問文の作り方を問題にしました。これにはルールの優先順位があるので、しっかりおさえましょう！

- ①canやwillなどの助動詞がある  
→否定文なら助動詞の後ろにnot、疑問文なら助動詞を前に出す
- ②be動詞を使っている  
→否定文ならbe動詞の後ろにnot、疑問文ならbe動詞を前に出す
- ③それ以外(一般動詞のみを使っている)  
→否定文なら動詞の前にdo not (don't)、疑問文ならdoを先頭につける

なお、③は3単現のsがつく場合、過去形の場合など変化球がかなりあります。それらは出てきたら順に覚えていきましょう。

## 【解答】

(1) Do you have natto for breakfast? (または No, I don't.)

(2) Can you play the piano well? (または No, I can't.)

(3) Is that man Mr. Ito? (または No, he isn't.)

A. 順に Are, am, is

B.